



なわ跳び大会

I 船橋二和高校について

Q1 船橋二和高校はどのような学校ですか？

A 1979年4月に開校し、今年で創立33年目を迎えた全日制普通科の県立高校です。

現在3学年7学級、1・2学年8学級の計23学級からなる、生徒数が895名の比較的大規模な学校です。

Q2 学校へはどのように行けばよいのですか？

A 船橋市の北部、鎌ヶ谷市との境に位置しています。最寄り駅は新京成電鉄の「二和向台」駅で、そこから徒歩で約20分です。または、JR船橋駅北口3番乗り場から船橋新京成バス「二和道経由鎌ヶ谷大仏駅」行きに約20分間乗り、バス停「鎌ヶ谷」で降りると徒歩約7分で着きます。なお、在校生の9割前後は自転車通学です。

II 学習について

Q1 中学と高校の学習は、どう違うのですか？

A 高校の授業は、中学校で学んだことを基礎として行われますので、当然中学校と比べるとより高度な内容について学習することになります。1年生の最初のうちは中学校の内容の復習から入りますが、だんだんと高度な新しい内容を学んでいきます。本校では、「基礎・基本の徹底」を目

標に授業を行っていますので、まずは普段の授業を大切にすることです。そして、日頃の家庭学習も重要になってきます。

また、本校では学年が進むに従って選択科目が増えていきます。自分の興味や関心、さらには将来の進路希望等をしっかりと考え、学習する科目を選択していくこととなりますので、自分の将来の夢や進路目標についてきちんと考えることが必要になります。

III 学校生活について

Q1 学校の雰囲気はどんなですか？

A 緑に囲まれて落ち着いた雰囲気のなか、「**協力・粘り**」の校訓のもと、多くの生徒が『**夢・挑戦・感動!!**』をモットーに、明るくのびのびとした学校生活を送っています。部活動も活発に行われており、清々しいなかにも活気に満ちあふれた学校です。グラウンドも広く、体操場やプール等の施設もあります。

Q2 校則は厳しいのですか？

A 社会や集団の中で生活するためには、ルールやマナーを守ることが大切になります。本校の生活面の規則が、他校に比べて特に厳しいということはありませんが、もちろん高校生として守らなければならない最低限のルールとしての校則はあります。さらに、高校生として生徒一人一人が規範意識を持ち、自ら正しい判断ができるよう、先生方も常に指導や助言を行っています。

Q3 生徒の不安や悩みに対しては、どのように対応していますか？

A 高校生の時期は、人生の中で最も不安や悩み

が多い時期でもあります。不安や悩みを持った時には、友人や家族に相談することはもちろんですが、本校の先生方も生徒の声に熱心に耳を傾け、助言や協力を惜しみません。さらに、教育相談室も設置されており、教育相談の専門の先生が専門的な視点からアドバイスを行う等、生徒をバックアップする体制もしっかりと整っています。

Q4 どのような学校行事がありますか？

A 年間の主な行事を以下に挙げてみます。

☆文化祭

本校の文化祭は「二和祭」と呼ばれ、クラスや文化系部活動の発表等が行われます。内容としては、調理や食品等を販売する模擬店、演劇・ダンス等の舞台発表、縁日・お化け屋敷等の趣向を凝らした出し物等があります。今年度は9月17日(土)に実施する予定で、一般公開も行います。中学生の皆さんは生徒手帳や身分証明書があれば入場できますので、是非見学に来てください。

☆体育祭

100m走・障害物競走等の個人競技や、台風の日・チームジャンプ等のクラス対抗種目が行われます。特に、最後に行われるクラス対抗リレーでは、生徒の応援も最高潮に達し、学校全体が大変な盛り上がりを見せます。

☆修学旅行

最近では、2年生の秋に沖縄に行っています。本島での平和学習に加え、伊江島に渡ってのホームステイ・体験学習等を実施しており、生徒には大変好評です。

☆なわ跳び大会

開校以来続く本校伝統の名物行事で、個人の技を競う競技、グループで行う創作リズム縄、クラ

ス対抗の長縄跳び等、様々な競技を一日かけて行います。今年度は11月22日(火)に船橋アリーナを借り切って行われます。一般の方も観覧できますので、どうぞ御来場下さい。

IV 進路について

Q1 進路状況や進路指導はどうか？

A 本校の進路指導は、LHRや「総合的な学習の時間」等を利用して年間を通じて行われ、学年別に“進路ガイダンス”等も実施しています。本校の生徒は、4年制大学や短期大学への進学(今春44%)、専門学校への進学(今春33%)、公務員を含めた就職(今春9%)というように多方面に進むため、あらゆる分野に対応できる進路指導態勢をとっており、1人1人の希望に応じたきめ細かな指導が可能です。

V 部活動について

Q1 部活動の実績はどうか？

A 昨年度の主な実績は以下のとおりです。

☆バスケットボール部(女子)

総体県大会2回戦出場

新人大会県大会ベスト16

☆バレーボール部(男子)

総体県大会出場

☆バレーボール部(女子)

関東大会県大会ベスト16、総体県大会ベスト32、新人大会県大会出場

☆水泳部

県選手権男女 1500m・400m・200m・自由形4位、個人メドレー県入賞6名
関東大会1名出場、



水泳部によるシンクロ(文化祭)

新人戦県大会男 200・400m 自由形7位入賞, 100・50m バタフライ入賞3位

☆サッカー部

総体県大会出場、高校選手権県ブロック予選決勝進出、新人県大会2回戦出場

☆野球部

春季ブロック大会代表決定戦出場、全国高校野球選手権県大会2回戦出場

☆陸上競技部

総体県大会男子 400mリレー、1600mリレー、砲丸投げ、円盤投げ出場、新人大会県大会男子走り幅跳び、砲丸投げ・円盤投げ出場

☆体操部

新人戦県大会男子個人総合32位、女子団体県大会5位

☆テニス部

総体県大会男子団体出場

☆卓球部

新人大会県大会男子団体ベスト16

男子シングルス・ダブルス、女子シングルス出場

☆書道部

高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会テレビ東京賞、日本武道館賞受賞、全日本書初め大展覧会日本武道館奨励賞・日本武道館賞受賞

☆美術部

全日本学生美術展特選・準佳作受賞

また、今年度も水泳部の関東大会3種目出場、バスケットボール部(女)の県ベスト16をはじめ、バレーボール部(男女)・バスケ(男)・サッカー部・陸上競技部・体操部(女)・テニス部(男)等も県大会へ出場しています。



VI 「前期選抜」について

Q1 「前期選抜」の募集枠はどうなっていますか？

A 今春の前期入試では制限いっぱいの60%でした。来年度については未定ですが、県の制限が60%ですので、それに合わせて変更することになります。

Q2 「前期選抜」で学力検査以外に実施する検査は何ですか？

A 来年度については学力検査5教科と適性検査〔面接と実技との選択、実技は野球・サッカー・・・バスケットボール・バレーボールの中から1種目選択〕を実施予定です。

Q3 調査書はどのくらい合否に影響しますか？

A 学力検査の得点が重要なのはもちろんですが、調査書の評定や面接等の検査結果等を総合的に判断し、合否を判定します。また、「前期選抜」では学習成績以外の部分(特別活動・出欠・部活動等)も重要視することになるはずですが。

「後期選抜」について

Q1 「前期選抜」の結果は、「後期選抜」の合否に関係するのですか？

A 関係はありません。前期選抜で不合格になり、後期選抜で再度本校に挑戦し、見事に合格した受験生は9割以上でした。本校への入学の意志が強い人は、最後まであきらめず、次も受検して欲しいと思います。

Q2 「後期選抜」で学力検査以外に実施する検査は何ですか？

A 今春は3名1グループの集団面接を行い、志望動機や中学校生活等について質問しました。来年度は決定後HPで発表します。



福祉施設でのボランティア体験